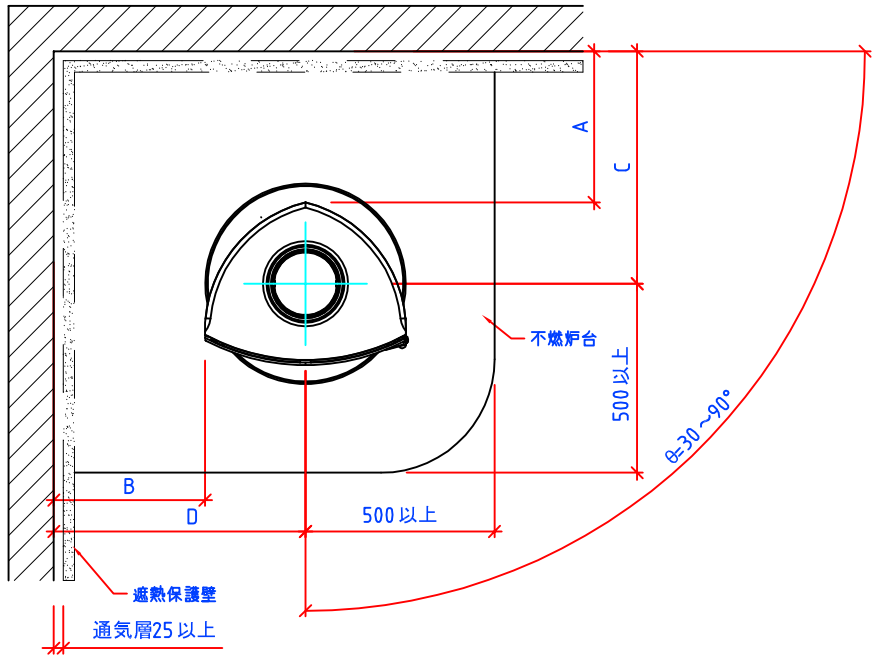
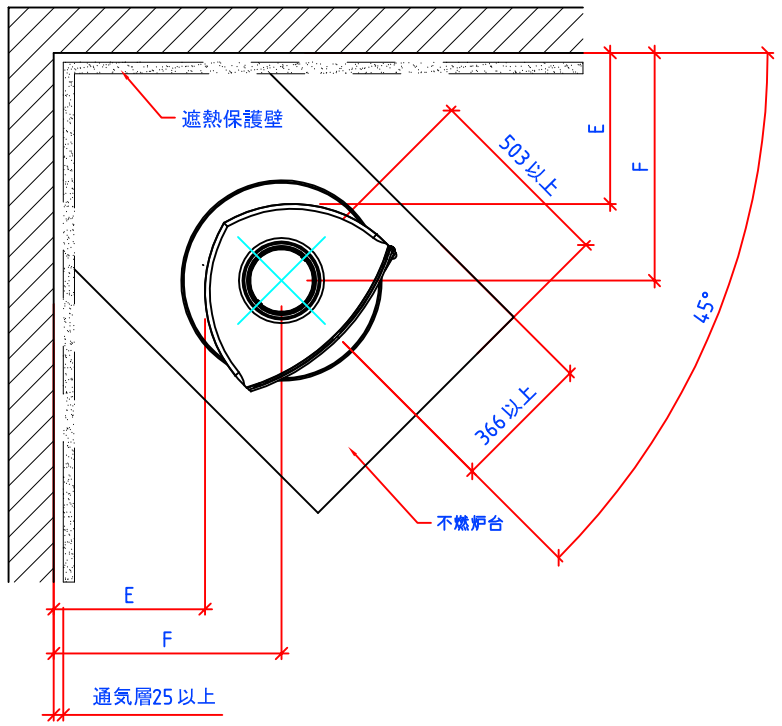
右図のような設置で本機ペデスタルの回転機構を利用する場合、ストーブ側面・背面部の可燃物との最小離隔距離を確保しつつ、且つガラスドアに面する可燃物までの離隔距離が煙突芯から1.8m以上となるような角度範囲でのみ固定設定を許容できる。
例えば、A値とB値が下表に示す最小値の時は、θ=30°～90°の範囲であればストーブ側面・背面部の可燃物との離隔距離を確保することができる。

360°全方向の任意角度で固定設定を希望する場合、可燃物までの最小離隔距離は煙突芯から1.8m以上を確保すること。
但し、有効な遮熱保護壁が設置されるならばその距離は半減してよいものとする。



右図のようなコーナー設置（ストーブ角度45°）の場合、F値を下表の最小値にした時はペデスタル回転機構を利用することは許容されない。
回転機構の利用を希望する場合、例えばF値=C最小値とすれば、θ=45±15°の範囲内の任意の位置で固定設定することは許容される。
但し上記同様、ガラスドアに面する可燃物までの離隔距離を煙突芯から1.8m以上確保すること。



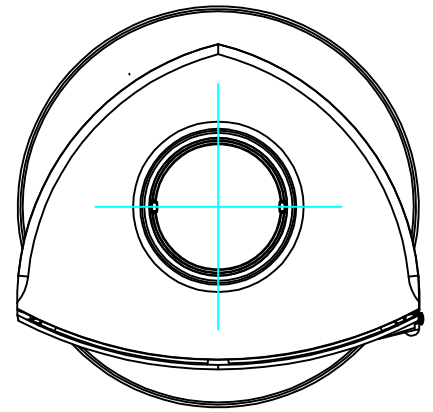
最小離隔距離 （mm）						
壁 仕 上	A	B	C	D	E	F
可燃壁 （遮熱保護壁無し）	800	800	1015	1066	800	1002
可燃壁 ＋ 遮熱保護壁	400	400	615	666	400	602
不燃壁 （遮熱保護壁無し）	300	300	515	566	300	502
不燃壁 ＋ 遮熱保護壁	150	150	365	416	150	352

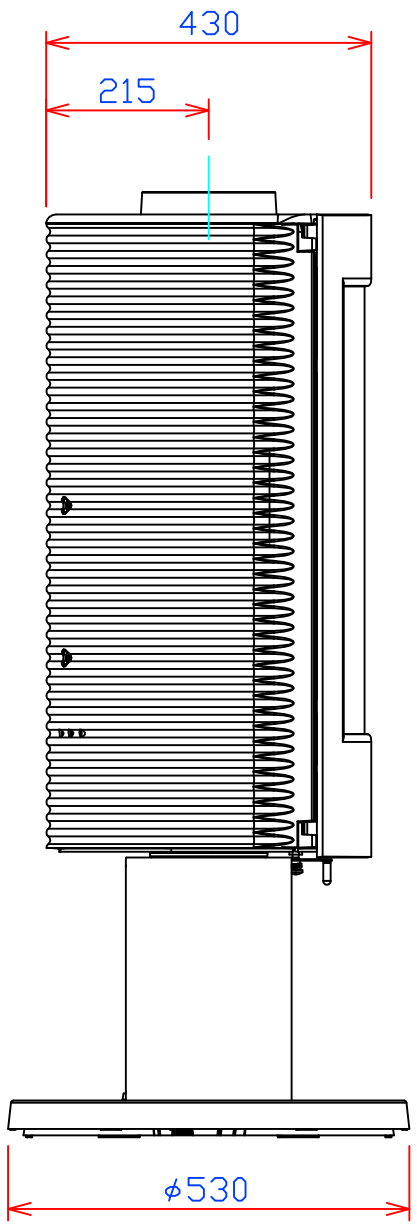
遮熱保護壁は、不燃材料（金属板の場合は板厚0.8mm以上）により構成され25mm以上の空気層を有すること。
不燃材料により構成される炉台大きさはストーブ前面においては300mm以上、側面においては100mm以上を確保すること。
遮熱保護壁高さは1650mm以上とすること。

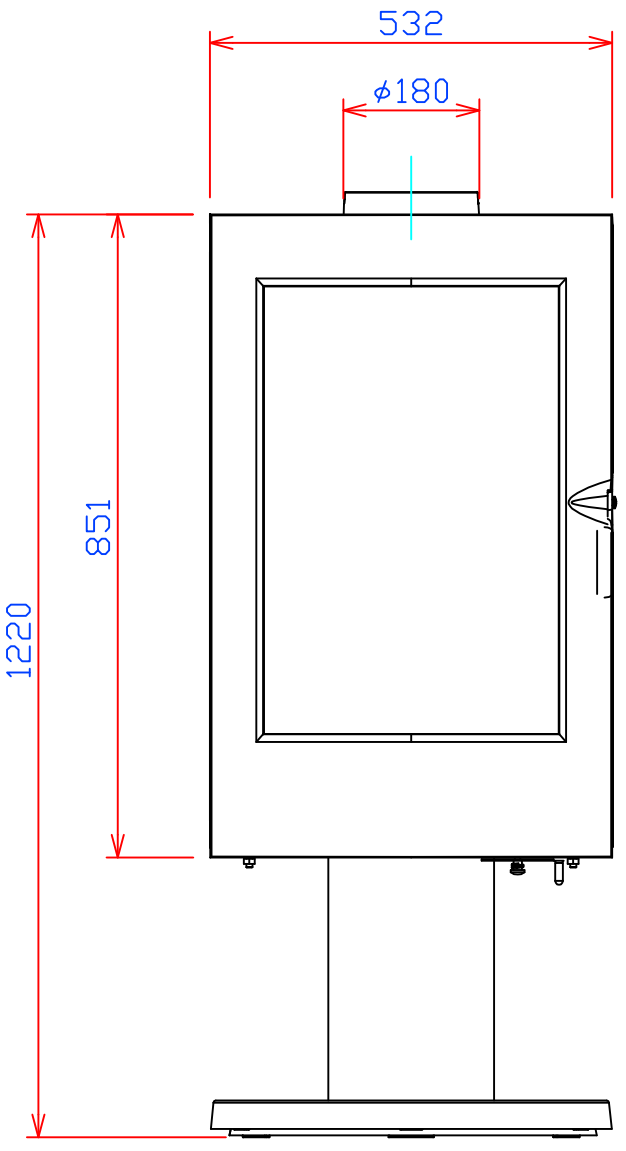
仕様諸元

型番	：6150-44
機種名	：ファロス （Pharos）
色調	：ダークグレー
寸法	：W532 × H1220 × D530 （mm）
重量	：167.5 kg
定格出力	：12kW
燃焼方式	：ポストコンバッション（クリーンバーン）
燃焼効率	：76%
CO濃度	：0.15%以下
排気温度	：277℃（定格出力時）
口元径	：180mm
煙突径	：流路直径150-200mm
煙道負圧	：推奨6-12Pa
準拠規格	：EU規格 EN13240
薪長さ	：推奨35cm、最大50cm

可燃物燃焼範囲については、別図CL-6150参照のこと







Invicta 6150

BORG SYSTEM

BORG SYSTEM CO.,LTD. E-Mail info@borg-system.jp
TEL 042-786-2320 FAX 042-786-2325

REV	POS	DATE	DESCRIPTION	SIGN

Wood Burning Stove
Invicta Pharos

Designed by	BGS Admin Number	Scale	Date	System Code	Drawing Number	Revision
JN		1:10	2012-05-06		6150	